

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

梅雨の時期到来、降り続く長雨は夏草が盛んに成長する時期でもある。水田から聞こえてくるにぎやかなカエルの声の風情を楽しみ

たい。

5月下旬3年ぶりに実施された「しんきん信寿会ふれあいの親睦の旅・貸切遊覧船での芦ノ湖クルーズと新緑の箱根・湯本富士屋ホテルのランチ」の旅に参加する機会があった。コロナ過で、特に経済的影響を受けた観光関係者を支えたいと願った松本信用金庫100周年記念事業の一環でもあった。

新型コロナワクチン3回接種を確認での申し込みと旅行前日に参加者全員の前原検査の義務付け。検査結果が無効のケースでは集合時間30分前に集合場所

## 心の健康のためにも 積極的に旅に出かけよう

で再検査など徹底したコロナ対策。当日受付場所には白馬支店全職員で対応などの体制は、参加者の安心感への効果も絶大だ。信寿会は、松本信用金庫で年金を受給しているメンバーの会でもあり、戻ってくる手には幾つもの土産袋を乗せよう

参加者は高齢の方も多  
いが積極的に旅する姿  
には感銘さえ受ける。  
久し振りの大型バス。車窓からの風景は、乗用車からのとは大きく異なり、見慣れた風景すらも新鮮に見えた。下車する度に、

入り口には、ホテル特選土産の直売場が開設。大型バスの延べ7回実施された旅行企画は、地元信用金庫の大好評だった。

10日から実施される訪日外国人観光客の受け入れや団体旅行も積極的に募集する体制になり、グループ旅行や家族旅行も劇的に増加する見込みだ。単に従前を踏襲するのではなく、観光ニーズに着目した観光戦略が求められる絶好の機会でもある。知恵と行動に期待したい。



久し振りの大型バスの訪問は地元関係者が大歓迎

イトルをつけたくなるような1日がありま

す」のように、これからの人生に、この厳しい時代の取り組みが、素晴らしいタイトルに

なるよう願うのは誰もが希望なのかもしれない。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)